



リトリート・ラインについて <U9>

2025年3月23日(日)
世田谷少年サッカー連盟

9月20日 P.3 対比を追記

9月21日 P.6 キックイン時追記

P.8 パントキック追記



- GKからのリトリートライン越してのパスあり
※ハーフライン越え不可(ワンバンしてからは可)
- ゴールキック時も越えていい
※ハーフライン越え不可(ワンバンしてからは可)
超えた場合は、越したハーフライン上から間接FKで再開
- GKがキャッチした場合はハンドスローのみ
※パントキックは禁止
- GKがリトリートライン内の仲間にパスを出したら1名中に入れる
※8人制のルールと同じ(8人制は何人でも入れます)
- インプレー時はリトリートライン内に1名入ってボールを奪いに行ける

U8との変更点(対比)



U 9

GKからのパス/スローはリトリートラインを直接越えても良い。

ゴールキック時もリトリートラインを直接越えても良い。
※但し、ノーバウンドでハーフラインを越えてはならない。
越えた場合、ハーフライン上から相手チームの間接FKで再開する。

GKがリトリートライン内の仲間にパスを出したら
1名中に入れる

インプレー時はリトリートライン内に1名入って
ボールを奪いに行ける

U 8

GKがボールを保持した時、守備側チーム選手は必ずリトリート・ライン内側で
GKからパスを受けなければならない。(ラインを越えるキック不可)

ゴールキック時とGKがボールを保持した時
(キャッチもしくはバックパスを受けた時)、
攻撃側選手はリトリート・ライン外側まで戻らなければならない。

守備側チームの選手がGKからパスを**受けたら**、攻撃側チームの選手は
1名がリトリート・ラインを越えてボールを奪いに行くことができる

リトリート・ライン内にいる守備側チームの選手がリトリート・ラインを越えたら
攻撃側チームの選手は人数制限なしでボールを奪いに行くことができる

【導入目的】

- サッカーを始めたばかりの選手たちに、段階的に8人制のルールを理解してもらうための前段階とする。
- ゴールキック問題への解決策
 1. 過度なプレッシャーから回避(キック力がない子たちへの対応)
 2. GKと一緒にプレーすることを覚えてもらう
 3. ビルドアップを覚えてもらう
 4. 速いリスタートを覚えてもらう
 5. 横と縦パスの判断(状況によって使い分けられるように)

【GK問題】

□ゴールキック問題に対応できず、GKが嫌になる選手が多い。



■GKが**好き**になるきっかけにしたい。

□トレセンGKもスローやキックでつなぐなど状況判断が出来ない。



■柔軟な対応、**状況判断**が自然に出来るようにしたい。

□体格が優れている選手は力任せにキックをすることで対応してしまう。



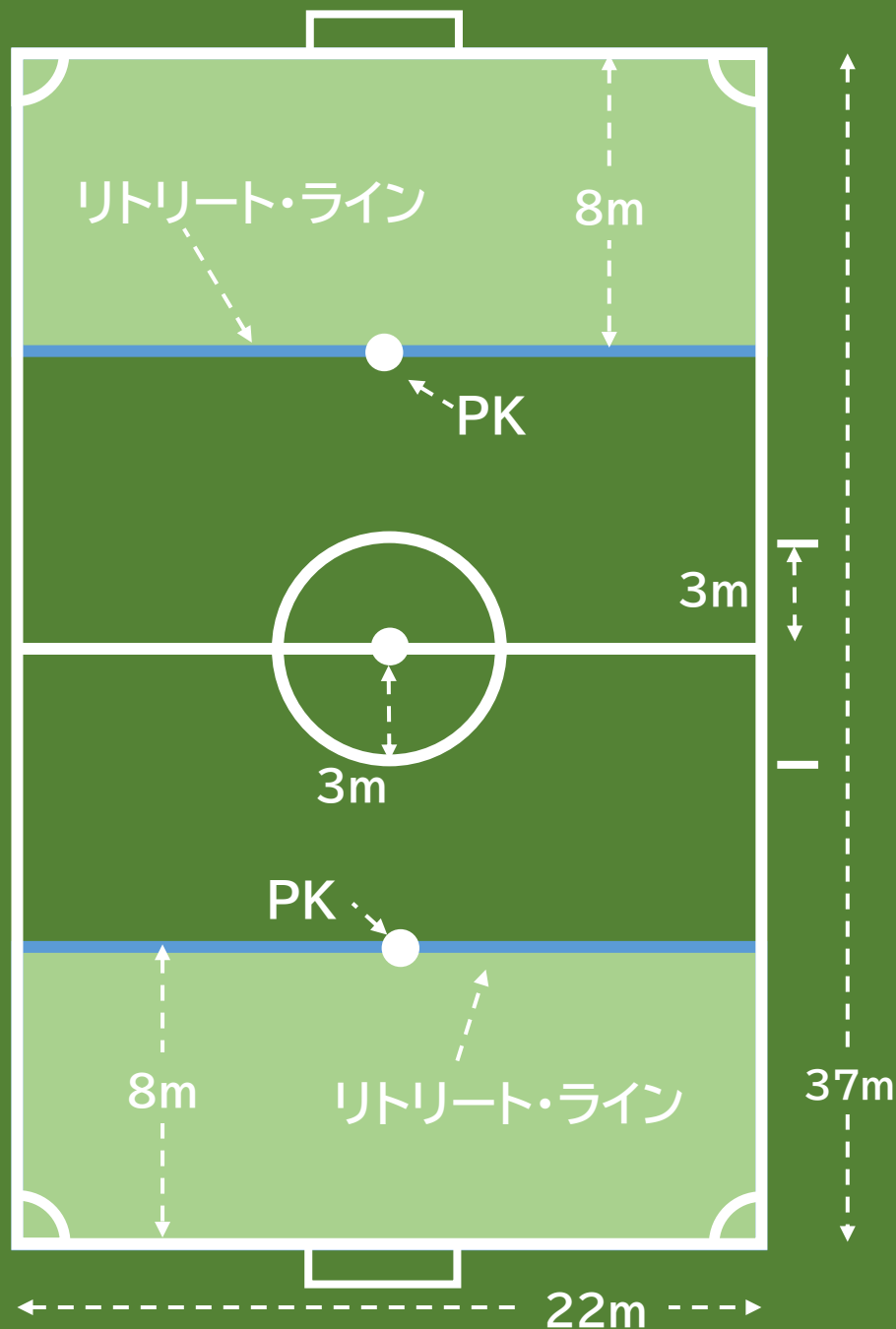
■バックパスからの縦パスなど**繋ぐ判断**を生み出したい。

□セービング能力はあるが、ゲームの流れを読む力が低い。



■セービング**技術**とFPの**要素**の両方を伸ばしていきたい。

ピッチサイズ



■ ゴールサイズ 縦:1.8m、横:2.5m ※ハンドボールゴール

■ ピッチサイズ 縦:37m、横:22m ※会場により対応

※J&Sフィールドは縦42m、横22m これになるべく近づけてください

■ リトリート・ライン 各ゴールラインから8m
✓ リトリート・ライン内がペナルティエリア

■ センターサークル 半径3m

■ ペナルティマーク リトリート・ライン上(8m)

■ 交代ゾーン センターライン左右3m

■ FK・CK時は5m離れる、キックイン時は2m離れる

【一番最初に理解してほしいこと】

GKが**ボールリトリートライン内**で**保持**している時にこのルールは採用されます。※リトリートライン外では採用されません。

保持の定義：

- ・ゴールキック時

- ・GKがバックパスを受けたとき ※相手チームは1人しかリトリートライン内に入れない。審判の判断が重要(審判初心者では難しい判断→経験豊富な人推奨)

- ・ボールをキャッチした時

ボールの位置ではなく、あくまでGKがボールを保持しているとき

GKが1タッチでクリアは可。但しハーフラインをノーバンで越えたら相手ボール。越えたライン上から再開
※2024年度から追記ルール

【U-9リーグ リトリート・ライン ルール ①】

- ゴールキック時とGKがボールを保持した時(キャッチもしくはバックパスを受けた時)、攻撃側選手はリトリート・ライン外側まで戻らなければならない。
- GKがボールを保持した時、縦パスができる。(ハーフライン越すのは不可)
※キャッチしてからのパントキックは不可
- GKが味方選手へパスを出したら、攻撃側チームの選手は1名がリトリート・ラインを越えてボールを奪いに行くことができる。
- リトリート・ラインを越えた攻撃側選手がボールを奪ったら攻撃側チームの選手全員がリトリート・ラインを越えて攻撃することができる。
- GKが(味方から)バックパスを手で取った際、その場から間接FK

【U-9リーグ リトリート・ライン ルール ②】

- リトリート・ライン内にいる守備側チームの選手がリトリート・ラインを越えたら
攻撃側チームの選手は人数制限なしでボールを奪いに行くことができる。
- ペナルティエリアはリトリート・ラインと兼用。(PKはリトリート・ライン上から)
- ボールがタッチラインを割ったときはタッチライン上からキックインで再開。
- ゴールキックはリトリート・ライン内側からGKが行う。
- インプレー時は、常にリトリートライン内に1名攻撃側チームの選手は入れる

例) GKがバックパスを受けても1名ボールを奪いに行ける

GKがボール保持した時の位置

- ゴールキック時攻撃側選手は守備側のリトリート・ライン内から出なければならない。GKがボールを保持した時(バックパスを受けた時)、**攻撃側の選手は常に1名リトリートライン内にいてもいい。**

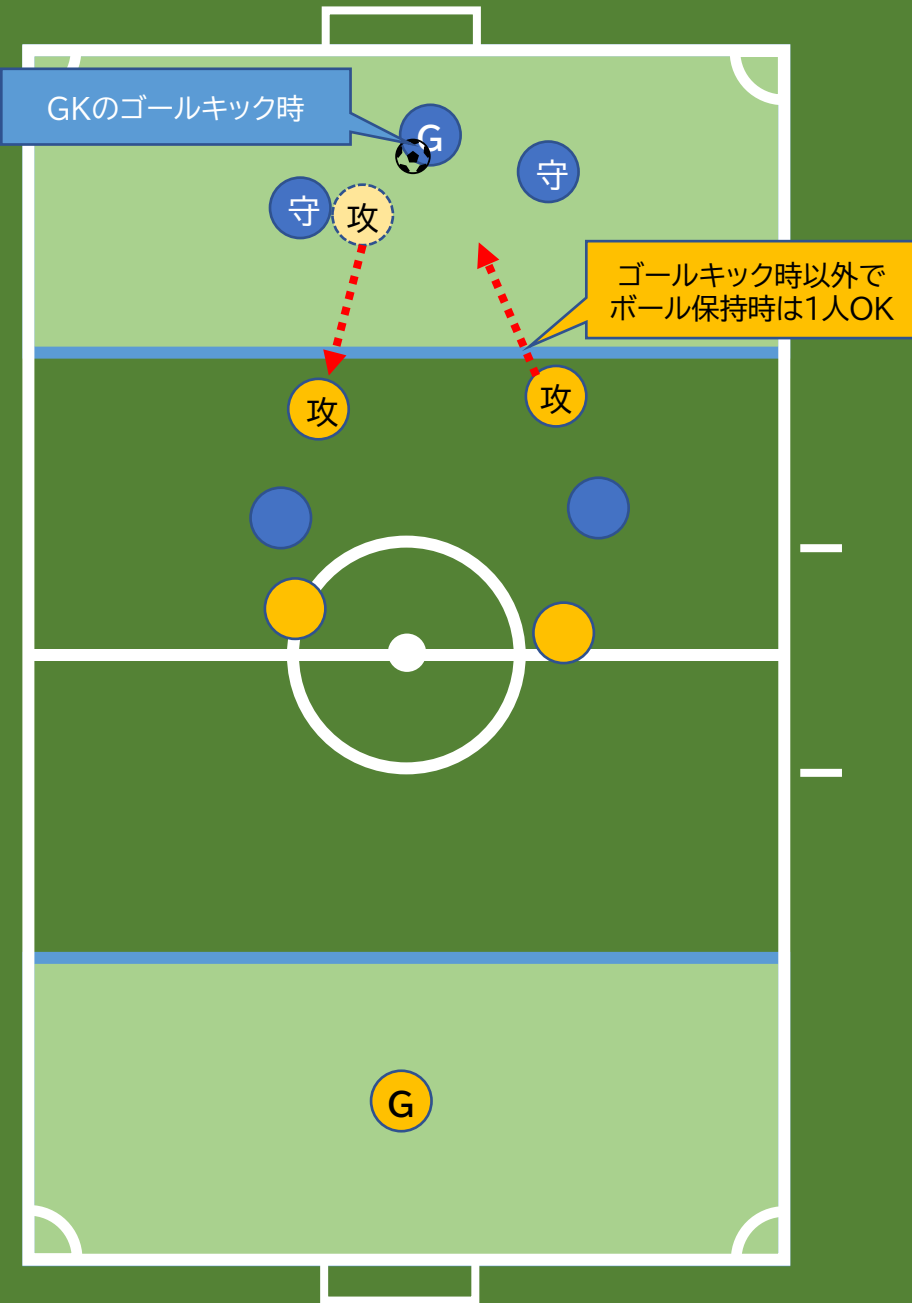
GKがボールを保持した後の相手選手の位置

- ・青チームのゴールキック時、黄チームの選手は相手コートのリトリート・ライン後ろ側まで戻る。
- ・インプレー時(バックパス等)はリトリートライン内側に1名常にいてもいい

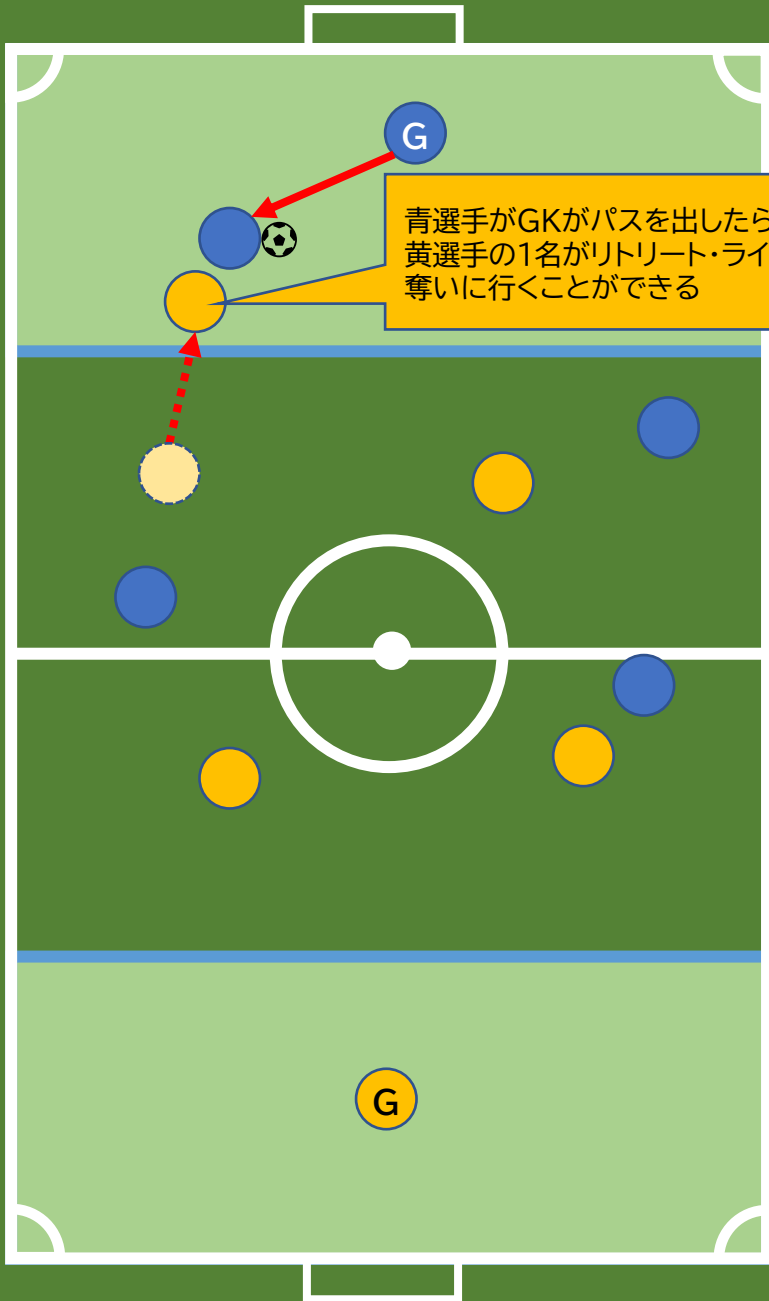
違反時の対応

リトリート・ラインを越えている選手にラインの後ろ側に出るように声掛けをする。リトリート・ラインを越えている状況でプレーが継続しても、プレーに影響がなければそのまま続ける(キックスタート時など)。違反があってプレーを止めた時は青チームのGKから直前のプレーと同じ方法で再開。

リトリートライン外ではこれらは発生しません



リトリート・ライン内の侵入可能条件



青選手がGKがパスを出したら、黄選手の1名がリトリート・ラインを越え、奪いに行くことができる

- GK側チームの選手がGKからパスを出したら、相手側選手は1名がリトリート・ラインを越えてボールを奪いに行くことができる。

相手側選手がリトリート・ライン内に入ることができる条件

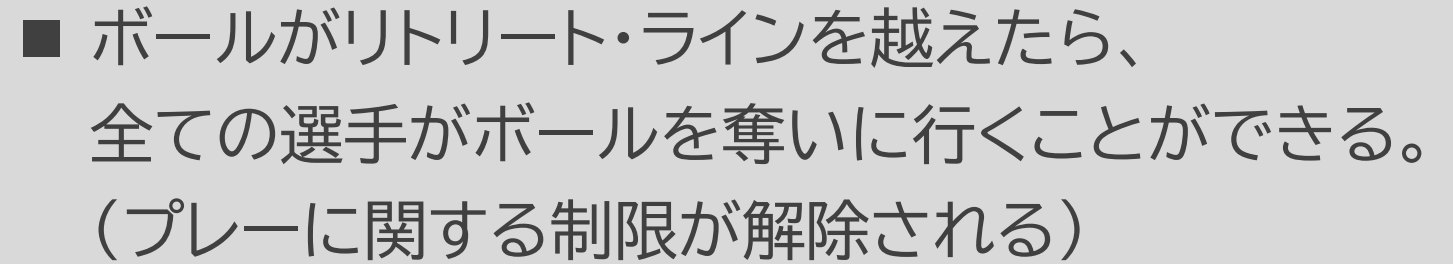
青チームのGKがパスを出したら、黄チーム1名がリトリート・ラインを越えることができ、黄チームの選手がボールを奪った時点で黄チーム全員がリトリート・ラインの内側に入ることができる。

GKがインプレー中ボールを保持しているとき、1人リトリートライン内側に入ることができる。

違反時の対応

次の違反の場合、青チームのGKから直前のプレーと同じ方法で再開。
(違反があったとしてもその後のプレーに影響がない場合はそのままプレーを続ける)

- ✓ 青チームのパス成立前に黄チームの選手がリトリート・ラインを越えてプレーに影響を与えた場合
- ✓ パス成立後(ボールはリトリート・ライン内にある状態)、黄チームの選手2名以上がリトリート・ラインを越えた場合



ボールがリトリート・ラインを越えた時点(ドリブルまたはパスなど)で黄チームの選手は人数制限なしでボールを奪いに行くことができ、通常の(=制限のない)プレーが開始される。

その後、再びボールがリトリート・ライン内に入ったとしても、GKがそのボールを保持する状態にならない限り、通常のプレーが継続される。

リトリート・ラインルールのまとめ



状況	攻撃側(黄チーム)	守備側(青チーム)
守備側GKがボールを保持	リトリート・ラインの 外側 まで 選手全員が出る	リトリート・ライン 内側 で パスを受ける (内側の人数制限なし) 縦パスを受けることができる ※ハーフライン越えられない
ゴールキック時 (ゴールキック側を 守備側とする)		
守備側GKがボールを保持した後、 パスが成立した時	攻撃側選手の 1人 が リトリート・ラインを越えて ボールを奪いに行ける	制限なし
ゴールキック後、 パスを出した時 (ゴールキック側を 守備側とする)		
リトリート・ラインの内側で攻撃側選手 1名が守備側選手の ボールを奪った時	制限なし	
パスが成立した後でボールが リトリート・ラインを越えた時		
GKがバックパスを受けたとき	1名リトリートラインを越えてボール を奪いに行ける	リトリートライン外でパスを受け ることができる